

# 山梨ライトハウス

第102号

発行／社会福祉法人 山梨ライトハウス  
〒400-0064 甲府市下飯田2-10-1  
TEL/055-222-3502 FAX/055-233-0124  
URL <http://yamanashi-lighthouse.or.jp>



情報文化センター 電話／055-222-3502  
貸出・用具専用／055-223-1113  
青い鳥ホーム 電話／055-242-8244  
青い鳥成人寮 電話／055-224-5060  
青い鳥支援センター 電話／055-267-7480  
ヘルパーステーション青い鳥／055-221-0880  
居宅介護支援事業所青い鳥／055-242-9020  
相談支援事業所ヴィーヴィ／055-221-1260  
青い鳥老人ホーム 電話／0553-26-6631  
青い鳥ケアホーム 電話／055-235-5566

社会福祉法人 山梨ライトハウス



山梨ライトハウスの理念は  
「<sup>あす</sup>視覚障害者の未来を照らす  
<sup>みちしるべ</sup>光の道標となること」です。

## CONTENTS

巻頭言……………	1	ライトハウスニュース…………	6～9
白い杖愛護運動月間…………	2	新人職員紹介……………	9
生活体験文 最優秀賞受賞作品…………	3	事業報告・決算報告…………	10
福祉祭……………	4～5	青い鳥老人ホーム新施設長挨拶/川柳…………	11
		お知らせ……………	12

## 「耳で見る」ゴルフの世界

山梨ライトハウス理事長 萩原 満治

目の不自由な方と一緒にグラウンドゴルフをする機会に恵まれました。甲府市のボランティア『わの会』の戸澤清茂会長から誘われたのが、きっかけです。最初は「本当に楽しめるのかな？」と不安でしたが、「大丈夫、みんな上手ですよ」と戸澤会長。視覚障がい者の外出などをサポートする『わの会』では、三十年以上続くイベントだそうです。

当日は生憎の雨模様。舞台は、盲学校の校庭から体育館に移りました。競技は木製のクラブでこぶし大のボールを打ち、円形のホールポストに出来るだけ少ない打数で入れていきます。野外では最長五十メートルのホールもありますが、室内なので十五メートルに制限。距離は短くても、床が滑りやすいのでボールがなかなか止まりません。チームは目の見えない人と見える人の混成です。

スタート地点に置かれたボールの位置を、手探りで確かめる見えない人。「もう少し体を右に向けて。スティックの面も曲がっているよ」と目の見えるチームメイトがアドバイス。前方のホールポスト付近では、円形ポストに吊り下げられた金属製の筒を打ち鳴らし、打つ方向を知らせます。こうして一緒に回っている選手からの情報を頭に入れながら、ホールポストに近づいていくのです。

「音に対する感性が磨かれてくると、打つ方向が分かって来るだけでなく、どのくらい先なのか距離感もつかめてきます」と戸澤会長。盲学校高等部で理科を教えていた頃は音声教育に力を入れたという。五感が研ぎ澄まされ、<sup>ミ</sup>「耳で見る世界」を体得した教え子にも出会ったそうです。

すっかり見えていくのに、力が入り過ぎたり弱かったり。行ったり来たりボール。運動神経の悪さばかりではない。普段、視覚に頼り過ぎて、周りの声や風の動きさえ見失っていたのでは。戸澤会長の話を聞いていて、私はそんな気になりました。

と同時に、今回の貴重な体験を通して、私たちが少しサポートすれば、視障がい者がスポーツを楽しむ機会は、もっと広がるはずだと実感しました。例えば音声ガイド付きのスポーツ用具の開発や、一緒に楽しめるスポーツイベントの開発など。環境を整えることで、目の不自由な人にも見える人にも、もっと多様で豊かな世界が広がるのではないのでしょうか。



音を頼りに方向を定めてスティックを振る



グラウンドゴルフ大会の参加者

# 白い杖・盲導犬キャンペーン 白い杖福祉の集い

第71回白い杖愛護運動（山梨県・山梨県教育委員会・山梨ライトハウス共催）を11月に行いました。それに伴って、10月31日には「白い杖・盲導犬キャンペーン」を甲府駅南口で行い、目の不自由な方々への理解と協力を呼びかけるため、啓発パンフレットや点字紙を再利用したポチ袋などを配布しました。



セレモニーの様子



多くの方に呼びかけができました



2日には「白い杖福祉の集い」を山梨県立盲学校体育館で開催しました。式典では、点訳・音訳奉仕者知事表彰、白い杖愛護作文・生活体験文受賞者の表彰が行われました。



知事表彰受賞者代表あいさつ



愛護作文(小学校の部)受賞者



愛護作文(中学校の部)受賞者



愛護作文(高等学校の部)受賞者



生活体験文(児童・生徒の部)受賞者



生活体験文(一般の部)受賞者

目の不自由な人たちとの交流や共生をつづる「白い杖愛護作文」に、小中高等学校20校から162編、目の不自由な人たちが日常生活のことなどをつづる「生活体験文」に16編の応募がありました。



## 勇気を持つ

【児童生徒の部】 山梨県立盲学校 高等部本科普通科三年 小俣 凜太郎

小学生の頃、私は自分に目の病気があることを知りました。その病名は「網膜色素変性症」といいます。違和感を覚えたのは、習い事をしていたときに親から「落ち着きがない」と指摘されたときです。実際には前が少し見えにくくて、一生懸命見ようとしていただけでした。そのことを親に伝えると、すぐに病院に連れて行ってくれました。病院で初めて病気のことを知りました。設備が整っている東京の病院を紹介してもらい、その病院で診療を受けた後、先生から、

「この病気には紫外線があまり良くない。紫外線を避ければ進行をかなり抑えることができる」と教えていただきました。

診察が終わったあと、先生に紹介してもらったお店に行き、紫外線をカットできるサングラスと帽子を買いました。サングラスにはさまざまな色があり、私は最もまぶしさが緩和されたオレンジ色のレンズを選びました。しかし、それを学校でかけるのを想像すると怖くなりました。「友達に何か言われるのではないか」と不安だったからです。それに、当時眼鏡をかけ始めた人の噂はすぐに学年中に広まりました。それを恐れ、サングラスをかけていくことができませんでした。

その後私は、サングラスをかけて家を

出て少し歩いた後、ランドセルの中にサングラスを隠していました。先生からは「サングラスかけてくる予定じゃないかな？」などと聞かれましたが、そのたびに「家に忘れてしまいました」

「なくしてしまいました」

と言ってごまかしていました。しかし先生から親に連絡があり、かけていないことがばれてしまいました。親からは、かけないままだとすぐに目が見えなくなってしまうと諭されました。将来、自分の目が見えなくなってしまうことを想像したら、「まだかけたほうがましだ」と思い、思い切って学校にかけていくことを決めました。

いよいよサングラスをかけて学校に行く日がきました。登校時の集合場所に着いたとき、友達が私を見て、「かっこいい」

と言ってくれました。その言葉を聞いて、私はとても驚き、同時に安心しました。自分にとっては大きな勇気が必要だった行動が、周りからは前向きに受け止められていたのです。学校でも登校班と同じ反応で、私は「勇気を持って行動してよかった」と思いました。

この経験から、私は勇気を持つて行動することの大切さを学びました。これからも病氣と向き合いながら、前向きに生きていきたいと思っています。

## 事故からの復活

【一般の部】 富士吉田市 藤野 ます子

令和五年六月八日午前九時頃、私は信号待ちをしていました。音響式信号の音が聞こえたので、渡り始めました。すると、右側から車が走ってきて、あっという間に追突され倒れてしまいました。

それから後のことは、ぼーっとしてわかりませんでしたが、どなたかが救急車を呼んでくださった、富士吉田市立病院に搬送されました。検査の結果、右ひざ関節骨折と、左足首の粉碎骨折という診断でした。そしてそのまま入院しました。ストレッチャーに乗り、病室に行く時、息子が「命があつてよかったね」と言ってくれました。

入院して三日後、手術が行われました。手術の時間は八時間でした。全身麻酔だったので私はすぐ終わったように思っていました。手術後間もなくリハビリが始まりました。最初はベッドから立ち上がることもできませんでした。そんな日々が長く続き、「これでは家に帰れないのでは」と、毎日不安ばかりでした。そしてその内に少し立ち上がれるようになり、杖歩行の訓練が始まりました。最初はよりよき歩きでしたが、嬉しかったです。

その時私は、「あれこれ考えずにリハビリに専念しよう」と思いました。それから午前と午後のリハビリを一生懸命しました。杖歩行はリハビリの先生と相談して、白杖を使って訓練していただきました。リハビリでは日常生活の訓練も行いました。階段の上り下り、風呂に入る練習、坂

道・砂利道の歩き方、物を運ぶ練習などです。時にはリハビリにも疲れ、「もういいや」と思ったこともありましたが。そんな時は川柳を詠み、自分の心を慰め、「また頑張ろう」と思いました。

ある日、看護師さんが「ます子さん、どうしても家に帰りたいの？」とききました。私は、「はい、我が家に帰り何気ない日常生活がしたいです。地域の人たちとも触れ合いたいです」と答えました。私のこの言葉が看護師さんに理解していただけたかな？

令和五年八月一日、私は二か月の入院生活を経て退院しました。普通、この怪我であれば三か月の入院が必要だったようです。病院の先生も「奇跡」だと驚いていました。家につき玄関を開けると、懐かしさがこみ上げてきて涙がこぼれました。今も左足首にはボルトが入り、痺れもあり、完全とは言えませんが、何よりも、買い物カートを引き、スーパーに行けることが私の喜びです。

事故は一瞬にしておきます。人の心も変え、生活も変わります。視覚障害者が安心して歩けるように、音響式信号機がさらに数多くあった方がいいと思います。交通事故が0になるように、心から願っています。

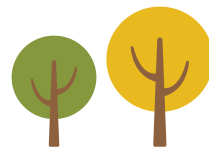


# 山梨ライトハウス 福祉祭

日時：令和7年11月8日(土) 11時15分～14時 青い鳥成人寮前庭



晴天に恵まれ温かな陽気の中開催されました。  
イベントや模擬店、ゲームコーナー等、盛況のうちに終了することができました。  
ご協力・ご参加いただきましたみなさま、ありがとうございました！





第67期 青い鳥成人寮運動月間 青い鳥福祉の祭典  
山梨ライトハウス 福祉祭

# 11月8日(土) 山梨ライトハウス 福祉祭

11:30~14:00  
(受付・チケット販売は11:15~)

場所:青い鳥成人寮前庭  
主催:山梨ライトハウス福祉祭実行委員会

## お楽しみ抽選会

下記の抽選番号で呼ばれます

あなたの番号は

1

番です☆彡

イベントや各コーナー、  
たくさんの方にご参加いただき  
大盛り上がり!  
みんなで楽しい時間を過ごせました。

## プログラム

11:30~ 開会式

11:40~ 甲府西幼稚園(和太鼓演奏)

12:00~ 山梨県立甲府城西高校(吹奏楽)

12:50~ KOTOMIC パフォーマンスチームによる  
ダンスメドレー

13:40~ ふれあいコーラス  
お楽しみ抽選会

## ゲーム・体験コーナー

射的

わなげ

お菓子作り

歩行訓練士による白杖体験

## 売店コーナー 11:45~

焼きそば おでん フランクフルト

フライドポテト スイートポテト

わたがし(無料)

※チケット制での販売

青い鳥ケアホーム特製お赤飯

各種のみもの

焼き菓子(ゆうき工房)

クレープ(Melody)

カレー・コーヒー・クッキー(カフェリベルタ)

焼き鳥・からあげ(焼き鳥のやまもと)

おにぎり(ミノアカファクトリー)

青い鳥成人寮の陶芸品

※現金での販売



# ライトハウスニュース

## NEWS NEWS NEWS

### ●情報文化センター●

#### 中途視覚障害者に対する点字学習指導法研修会

十一月十三、十四日、点字に関わる職員とボランティアを対象に、中途視覚障害者に対する点字指導の基礎や技術を学ぶ研修会が行われました。講師に名古屋ライトハウス愛盲報恩会の原田良實さんを招き、点の触り方や指の動かし方などの講義と実際の指導と同じような触読指導が行われました。また、受講者同士で指導者と受講者に分かれて、触読指導・解読体験も行われました。

参加者たちは「実際にどのような指導が行われるのかを知ることができた」、「最初は読めるはずないと思っていたが、少し読めるようになった」、「自分にも読めたので、指導する際も読む楽しさを感じてもらえるような指導がしたい」などの感想を話されていました。

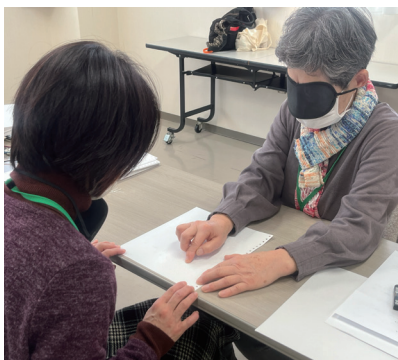
この研修会が、中途視覚障害者に対する点字指導のきっかけとなり、点字習得を望んでいる方々への指導につながってほしいと思います。



講義の様子



触読指導の様子



ペアを組んで指導体験



目隠しをして触読に挑戦

### ●青い鳥支援センター●

#### 感染症予防研修

青い鳥支援センターでは、感染症が猛威を振るう冬を迎える前に甲府市保健所のご担当者を招いて、感染症予防研修を開催しました。

まずは、感染症予防のための手洗い、除菌の方法や万が一、罹ってしまった際の対応方法を学びました。

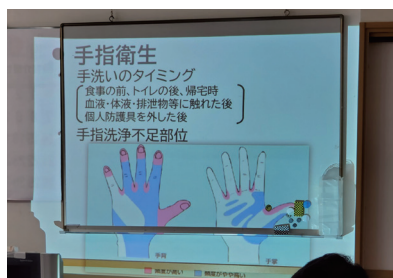
次に実践研修で、防護服や手袋などの着用手順、嘔吐物の処理手順を学びました。

処理する人が感染しないための手順があり、間違えることがないように職員は真剣に説明を聞いて、実演しました。

感染症に罹らないことが前提ですが、万が一罹ってしまった時に、慌てることなく、ここで学んだことを活かしていきます。



手順を間違えないように…



手洗いのタイミング



●青い鳥成人寮

楽しかったクリスマス会

十二月二十日にクリスマス会を行いました。毎年恒例の紅白歌合戦、今年は紅組が優勝。おやつは初体験のチョコレートフォンデュを楽しみました。チョコレートの噴水に驚きと感動でみなさん声を出し喜んでいました。  
中山サンタからのプレゼントもみなさん大喜び！



みんな聞いている～



職員と一緒に



うまく歌えてるかな



女性棟歌姫熱唱



職員とダンスしながら歌いました



中山サンタさんありがとう



すごーい！いっぱいつけちゃお



# 歌謡ショーとツアー、買物に食事会

まだ暑い九月、再開した歌謡ショーに招待して頂きました。何年か振りのショーに、参加した利用者は大盛り上がり。  
秋のちよつとツアーでは、コーヒーとケーキを楽しみました。恒例の訪問販売では、クリスマスの雰囲気漂う集會室で皆さん真剣に品定め。  
年末には厨房渾身の一品が並ぶ、お楽しみ食事会。作った厨房職員が緊張の表情で見守るなか、皆さん笑顔で召し上がり、普段小食の方も完食でした。



ショーの前に



ショーの前に



ちよつとツアー



集會室が買物会場



どれにするかなあ



厳選中



おたのしみ食事会



緊張の瞬間



カメラ視線で



談話室にて



## 地域連携推進会議報告

地域連携推進会議とは、施設等と地域が連携することにより様々な目的を達成するための会議体です。令和七年度から、開催及び広報誌等での公表が義務化されたため報告いたします。

日 時…令和七年十月二十日(月)

午後一時三十分～午後三時

場 所…情報文化センター多目的室B

構 成 員…利用者代表 山口恵子様(相澤よし江様代理)

利用者保護者代表 佐久間康一様

長南自治会会長 神谷正様

県立盲学校教諭 酒井弘充様

社会福祉法人ゆうき会理事 岡村昌典様

社会福祉法人あそびゆく副理事長 中村洋人様

甲府市福祉部福祉支援室障がい福祉課(欠席)

議 題…①青い鳥ケアホームの事業の実施状況について

②要望、助言の聴取

③地域関連行事の案内

④その他

\*会議終了後、施設見学を実施

会議内で選任された中村議長の進行により各議題を話し合い、特に、横断歩道やコンビニエンスストア等における利用者のエピソードと地域課題については、それぞれのお立場から活発な議論が交わされました。ケアホーム周辺には認定こども園や小学校、盲学校・支援学校、他法人が運営されているグループホーム等があります。改めて、この地域で暮らすことは利用者の皆さんにとって心強いことだと感じました。

また、地域と連携し課題解決に向けて協働するという視点を持つ良い機会にもなりました。本来の障害福祉サービス運営に加えて、ケアホームが地域の為にできることを利用者、職員で考えていきます。

構成員の皆様に、この場をお借りして感謝申し上げます。



## 新人職員紹介

(令和7年7月～令和7年10月採用)

新しく採用になった皆さんです。宜しくお願いいたします！

①氏名 ②所属 ③職種 ④好きな言葉、または一言



みやざき ちひろ  
①宮下 千尋  
②青い鳥成人寮  
③生活支援員  
④利用者の声に寄り添い、丁寧に支援を行っていきます。



なかやま こうじ  
①中山 晃志  
②青い鳥成人寮  
③生活支援員  
④男性利用者、女性利用者関係なく関わりたいと思います。よろしくお願いします！



# 令和6年度 事業報告・決算報告承認される

(自)令和6年4月1日  
(至)令和7年3月31日

## 資金収支計算書（合算）

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)－(B)
事業活動による収支	収入			
	介護保険事業収入	83,450,000	84,601,188	-1,151,188
	老人福祉事業収入	133,357,000	124,150,800	9,206,200
	障害福祉サービス等事業収入	512,043,000	515,806,609	-3,763,609
	身体障害福祉事業収入	51,234,000	51,291,187	-57,187
	その他の収入	564,000	0	564,000
	経常経費寄附金収入	120,000	429,092	-309,092
	受取利息配当金収入	245,000	284,164	-39,164
	その他の収入	4,464,000	4,978,276	-514,276
	事業活動収入計(1)	785,477,000	781,541,316	3,935,684
支出	人件費支出	551,206,000	548,198,799	3,007,201
	事業費支出	103,775,000	96,984,067	6,790,933
	事務費支出	57,991,000	53,551,468	4,439,532
	支払利息支出	370,000	365,832	4,168
	その他の支出	1,836,000	1,728,211	107,789
	事業活動支出計(2)	715,178,000	700,828,377	14,349,623
	事業活動資金収支差額(3)=(1)－(2)	70,299,000	80,712,939	-10,413,939
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等補助金収入	300,000	300,000	0
	その他の施設整備等による収入	0	27,346	-27,346
	施設整備等収入計(4)	300,000	327,346	-27,346
	支出			
	設備資金借入金元金償還支出	22,200,000	22,200,000	0
	固定資産取得支出	9,194,000	8,846,948	347,052
	ファイナンス・リース債務の返済支出	1,730,000	1,729,200	800
	施設整備等支出計(5)	33,124,000	32,776,148	347,852
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)－(5)	-32,824,000	-32,448,802	-375,198
その他の活動による収支	収入			
	積立資産取崩収入	14,628,000	14,627,030	970
	その他の活動収入計(7)	14,628,000	14,627,030	970
	支出			
	積立資産支出	960,000	960,000	0
	その他の活動支出計(8)	960,000	960,000	0
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)－(8)	13,668,000	13,667,030	970
	予備費支出(10)	0	—	0
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)－(10)	51,143,000	61,931,167	-10,788,167
	前期末支払資金残高(12)	551,062,836	551,062,836	0
	当期末支払資金残高(11)+(12)	602,205,836	612,994,003	-10,788,167

(自)令和6年4月1日  
(至)令和7年3月31日

## 事業活動計算書（合算）

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)－(B)
事業活動増減の部	収益			
	介護保険事業収益	84,601,188	81,169,335	3,431,853
	老人福祉事業収益	123,190,800	117,485,507	5,705,293
	障害福祉サービス等事業収益	515,806,609	470,796,488	45,010,121
	身体障害福祉事業収益	51,291,187	49,430,828	1,860,359
	経常経費寄附金収益	429,092	1,060,000	-630,908
	サービス活動収益計(1)	775,318,876	719,942,158	55,376,718
	費用			
	人件費	542,525,769	527,028,972	15,496,797
	事業費	96,252,110	94,283,064	1,969,046
サービス活動増減の部	事務費	53,551,468	59,704,925	-6,153,457
	減価償却費	43,482,768	39,845,943	3,636,825
	国庫補助金等特別積立金取崩額	-3,895,155	-4,060,960	165,805
	サービス活動費用計(2)	731,916,960	716,801,944	15,115,016
	サービス活動増減差額(3)=(1)－(2)	43,401,916	3,140,214	40,261,702
特別増減の部	収益			
	受取利息配当金収益	284,164	5,927	278,237
	その他のサービス活動外収益	4,978,276	2,880,644	2,097,632
	サービス活動外収益計(4)	5,262,440	2,886,571	2,375,869
	費用			
	支払利息	365,832	443,532	-77,700
	その他のサービス活動外費用	1,740,168	1,610,174	129,994
	サービス活動外費用計(5)	2,106,000	2,053,706	52,294
	サービス活動外増減差額(6)=(4)－(5)	3,156,440	832,865	2,323,575
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	46,558,356	3,973,079	42,585,277
繰越活動増減差額の部	収益			
	施設整備等補助金収益	300,000	3,025,000	-2,725,000
	固定資産受贈額	3,350,340	0	3,350,340
	特別収益計(8)	3,650,340	3,025,000	625,340
	費用			
	固定資産売却損・処分損	1	13	-12
	国庫補助金等特別積立金積立額	300,000	3,025,000	-2,725,000
	特別費用計(9)	300,001	3,025,013	-2,725,012
	特別増減差額(10)=(8)－(9)	3,350,339	-13	3,350,352
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	49,908,695	3,973,066	45,935,629
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	980,388,212	966,415,146	13,973,066
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	1,030,296,907	970,388,212	59,908,695
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	10,000,000	10,000,000	0
	その他の積立金積立額(16)	0	0	0
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)－(16)	1,040,296,907	980,388,212	59,908,695

令和7年3月31日現在

## 貸借対照表（合算）

(単位：円)

資産の部			
	当年度末	前年度末	増減
流動資産	647,057,206	577,380,961	69,676,245
現金	0	278,009	-278,009
現金預金	548,181,785	483,159,461	65,022,324
定期預金	0	2,000,000	-2,000,000
事業未収金	97,482,941	85,146,841	12,336,100
未収金	35,470	0	35,470
未収補助金	0	5,375,000	-5,375,000
立替金	224,365	313,903	-89,538
前払金	484,300	433,500	50,800
前払費用	648,345	674,247	-25,902
固定資産	806,472,119	852,031,845	-45,559,726
基本財産	673,720,677	709,000,102	-35,279,425
土地	167,984,000	167,984,000	0
建物	505,736,677	541,016,102	-35,279,425
その他の固定資産	132,751,442	143,031,743	-10,280,301
構築物	8,600,368	9,198,228	-597,860
車輜運搬具	2,442,759	1,048,244	1,394,515
器具及び備品	13,510,507	8,383,558	5,126,949
無形リース資産	6,708,900	8,646,000	-1,937,100
退職給付引当資産	24,558,320	28,480,520	-3,922,200
長期預り金積立資産	1,920,000	1,680,000	240,000
人件費積立資産	52,000,000	62,000,000	-10,000,000
施設整備等積立資産	22,400,000	22,400,000	0
差入保証金	114,000	114,000	0
長期前払費用	496,588	1,081,193	-584,605
資産の部合計	1,453,529,325	1,429,412,806	24,116,519

負債の部			
	当年度末	前年度末	増減
流動負債	92,427,704	87,013,325	5,414,379
事業未払金	26,150,078	19,207,777	6,942,301
1年以内返済予定設備資金借入金	22,200,000	22,200,000	0
1年以内返済予定リース債務	1,729,200	1,729,200	0
未払費用	3,337,249	3,153,454	183,795
預り金	35,000	0	35,000
職員預り金	3,976,177	3,956,894	19,283
賞与引当金	35,000,000	36,766,000	-1,766,000
固定負債	101,677,720	129,289,120	-27,611,400
設備資金借入金	70,300,000	92,500,000	-22,200,000
リース債務	4,899,400	6,628,600	-1,729,200
退職給付引当金	24,558,320	28,480,520	-3,922,200
長期預り金	1,920,000	1,680,000	240,000
負債の部合計	194,105,424	216,302,445	-22,197,021
純資産の部			
基本金	94,825,208	94,825,208	0
基本金	94,825,208	94,825,208	0
国庫補助金等特別積立金	49,901,786	53,496,941	-3,595,155
国庫補助金等特別積立金	49,901,786	53,496,941	-3,595,155
その他の積立金	74,400,000	84,400,000	-10,000,000
人件費積立金	52,000,000	62,000,000	-10,000,000
施設整備等積立金	22,400,000	22,400,000	0
次期繰越活動増減差額	1,040,296,907	980,388,212	59,908,695
次期繰越活動増減差額	1,040,296,907	980,388,212	59,908,695
(うち当期活動増減差額)	49,908,695	3,973,066	45,935,629
純資産の部合計	1,259,423,901	1,213,110,361	46,313,540
負債及び純資産の部合計	1,453,529,325	1,429,412,806	24,116,519



# 青い鳥老人ホーム新施設長 挨拶



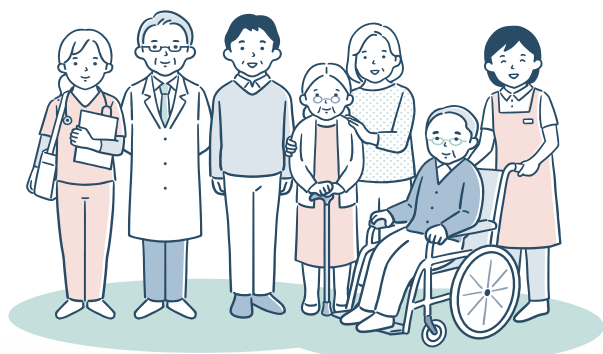
倉田 洋和

みなさんこんにちは。昨年七月一日に山梨県立青い鳥老人ホームの施設長を拝命した倉田です。年度中途の着任でもあり、日々慌ただしく仕事をこなしているうちにいつの間にか六ヶ月過ぎていた、というのが実感です。

私は大学卒業後、公務員、大学職員、社会福祉協議会の職員を経て現在に至っています。福祉に関わる経験としては、公務員時代に生活保護のケースワーカーとして、当ホームが所在する峡東地区で三年間現業活動に従事しました。その後転職した大学では、福祉と看護の学部が置かれていたことから、それぞれの分野で専門職を目指す熱意ある学生の姿を目の当たりにしたところです。

さて、当ホームは視覚障害のある方が生活する（盲）養護老人ホームです。したがって、障害者と高齢者へのサービスを複合的に提供する必

要があります。また、高齢化に伴い、利用者の半数以上が介護保険を利用していることから、充実した介護サービスの提供も重要となります。このような環境の変化に鑑み、二年前から最新の知識と高度な技能を習得するための職員研修を開始しました。今後は研修で得られた質の高いサービスの提供し、職員一同、利用者の満足度を一層向上させるべく取り組みを進めてまいります。



## 川 柳

浅川和多留 選

### ● ライトハウス川柳会 題 詠（期待）

ゆく道は運否天賦と期待せず

功罪は半ば期待は霧の中

新市長福祉制度に期待する

七輪で豊漁秋刀魚いい匂い

重すぎた期待に負けて心病む

女性初国民の目を肩で背負う

新社員紺のスーツに期待かけ

開けるまで期待膨らむ玉手箱

女性初アヒルがスワン期待する

### 雑 詠

朝刊に載らぬ日はない熊被害

熊騒ぎ本土防衛角度変え

ここ最近熊のニュース耳にする

熊どんや毎日人を襲うなり

コスモスは天国へ続く道にしたい

何事もちよつぱり効かす塩加減

野良仕事小枝にラジオ括り付け

一日の無事かみしめる仕舞風呂

旅先のクマ牧場を思い出す

### ● 青い鳥老人ホーム川柳クラブ 雑 詠

ホームゆえ安心の日々老いの道

体調も変わる季節と鬼ごっこ

夕立が過ぎて涼しい散歩道

祈ること早く戦争終わるのみ

部屋を出てマスク忘れて戻りゆく

振り返り母の年齢あと一歩

金丸 米子

市瀬 英子

桑原 梅次

長田 廣子

岡部 恵子

本間 りょう

萩原 満治

石川 昭敏

長田 廣子

岡部 恵子

本間 りょう

萩原 満治

石川 昭敏

山本 サカエ

佐野 英夫

金丸 米子

市瀬 英子

相澤 幸雄

堀内 孝春

堀内 孝春

堀内 孝春

堀内 孝春

堀内 孝春

堀内 孝春

堀内 孝春

堀内 孝春

堀内 孝春

堀内 孝春

堀内 孝春

堀内 孝春

堀内 孝春

堀内 孝春

堀内 孝春

堀内 孝春

堀内 孝春

堀内 孝春

堀内 孝春

堀内 孝春

堀内 孝春

堀内 孝春

堀内 孝春

堀内 孝春

堀内 孝春

堀内 孝春

堀内 孝春

堀内 孝春

堀内 孝春

堀内 孝春

堀内 孝春

堀内 孝春



## やまなしトヨペット様より備蓄水、 生命保険協会山梨県協会様より車いす用体重計のご寄贈

山梨トヨペット様（竜王店）の地域貢献活動の一環として災害時に役立つ備蓄水を青い鳥成人寮に寄贈していただきました。（1.5L×8本入りを12ケース）万が一に備え対策をしています。ありがとうございました。



山梨トヨペット様と成人寮 中山施設長



萩原理事長（左）と  
生命保険協会山梨県協会CR担当副会長 國見様

一般社団法人 生命保険協会山梨県協会様より、愛のふれあい募金として青い鳥成人寮に車いす用体重計を寄贈していただきました。ありがとうございました。

## 第28回山梨県障害者文化展

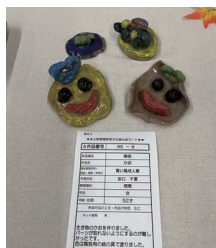
＜青い鳥成人寮＞



知事賞「ゆく年くる年」紙工班グループ



奨励賞「玉」鈴木用子



入選「かお」田口千夏

## 山梨放送様から 点字カレンダーのご寄贈

令和7年11月25日、日本テレビ小鳩文化事業団製作のカレンダー「点字版」300部が山梨放送メディアプロデュース局局長萩野様より山梨ライトハウス萩原理事長に贈られました。今回のテーマは「町並み紀行」で四季を彩る町並みの写真が掲載されています。



「町並み紀行」がテーマの  
点字カレンダー



山梨放送メディアプロデュース局  
局長 萩野弘樹様(左)

## 点訳・音訳奉仕員 養成講習会が修了しました

今年度の点訳奉仕員の修了者は6名、音訳奉仕員の修了者は9名でした。

これから、それぞれ練習を積み重ねて実践に入ります。皆さん今後とも、図書製作へのご協力をよろしくお願いいたします。



点訳講習修了者と講師



音訳講習修了者と講師

◎編集長 中山吉幸 ○編集委員 柳瀬美樹、松田縁、望月苑海、手塚美香、笹本稔、水上篤、関口なおみ  
※皆様からの情報をお待ちしております。